

令和2年度 「旭区民文化センター」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	108,279,000		108,279,000	108,279,000	0	横浜市より
利用料金収入	27,867,000		27,867,000	12,445,700	15,421,300	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	482,000		482,000	505,184	23,184	
自主事業収入	6,476,000		6,476,000	1,835,984	4,640,016	
雑入	1,222,000	0	1,222,000	13,645,104	12,423,104	
印刷代	163,000		163,000	61,560	101,440	
自動販売機手数料	433,000		433,000	195,788	237,212	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（）	626,000		626,000	13,387,756	12,761,756	コロナウィルス感染拡大防止の対応に係る費用負担分12,748,000円
収入合計	144,326,000	0	144,326,000	136,710,972	7,615,028	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	69,347,000	0	69,347,000	72,264,680	2,917,680	
給与 賃金	69,347,000		69,347,000	72,264,680	2,917,680	
社会保険料			0		0	
通勤手当			0		0	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	4,663,000	0	4,663,000	4,775,569	112,569	
旅費	48,000		48,000	12,770	35,230	
消耗品費	300,000		300,000	300,000	0	
会議賄い費	84,000		84,000	0	84,000	
印刷製本費	856,000		856,000	822,169	33,831	
通信費	678,000		678,000	642,385	35,615	
使用料及び賃借料	168,000	0	168,000	167,772	228	
横浜市への支払分	168,000		168,000	167,772	228	
その他			0		0	
備品購入費	1,108,000		1,108,000	1,751,821	643,821	
図書購入費	260,000		260,000	18,664	241,336	
施設賠償責任保険	239,000		239,000	233,140	5,860	
職員等研修費	84,000		84,000	13,500	70,500	
振込手数料	4,000		4,000	3,960	40	
リース料	777,000		777,000	772,208	4,792	
手数料			0		0	
地域協力費	57,000		57,000	37,180	19,820	
事業費	9,119,000	0	9,119,000	1,862,994	7,256,006	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	482,000		482,000	505,184	23,184	
自主事業費	8,637,000		8,637,000	1,357,810	7,279,190	
管理費	56,573,000	0	56,573,000	53,198,984	3,374,016	
光熱水費	12,720,000	0	12,720,000	8,799,648	3,920,352	
電気料金	7,845,000		7,845,000	4,755,493	3,089,507	
ガス料金	2,747,000		2,747,000	2,672,255	74,745	
水道料金	2,128,000		2,128,000	1,371,900	756,100	
清掃費			0		0	
修繕費	2,100,000		2,100,000	2,617,375	517,375	
機械警備費	0		0	0	0	
設備保全費	41,753,000	0	41,753,000	41,781,961	28,961	
空調衛生設備保守	17,822,000		17,822,000	17,862,900	40,900	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	23,931,000		23,931,000	23,919,061	11,939	
共益費			0		0	
公租公課	24,000	0	24,000	0	24,000	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税	24,000		24,000	0	24,000	
その他（）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	4,600,000	0	4,600,000	4,600,000	0	
本部分	4,600,000		4,600,000	4,600,000	0	
当該施設分			0		0	
ニーズ対応費	0		0	0	0	
支出合計	144,326,000	0	144,326,000	136,702,227	7,623,773	
差引	0	0	0	8,745	8,745	
自主事業費収入	6,476,000			1,835,984		
自主事業費支出	8,637,000			1,357,810		
自主事業収支	2,161,000			478,174		
管理許可 目的外使用許可収入	433,000			195,788		
管理許可 目的外使用許可支出	168,000			167,772		
管理許可 目的外使用許可収支	265,000			28,016		

[横浜市旭区民文化センター]
 令和 2 年度事業報告書
 [横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体]

施設の概要

施設名	横浜市旭区民文化センター サンハート
所在地	横浜市旭区二俣川一丁目 3 番地
構造・規模	鉄骨コンクリート造 地下 1 階地上 6 階建の、地上 5 階および 6 階の一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 2,564 m ²
開館日	平成 2 年 8 月 4 日

指定管理者

法人名	横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体 代表構成団体 株式会社横浜メディアアド
代表団体所在地	横浜市神奈川区栄町 5 番地 1
代表団体代表者	代表取締役社長 三浦彰久
代表団体設立年月日	昭和 58 年 1 月 22 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

1 基本方針

(1) 基本的な方針

●地域文化創造をリードする ”Advanced Center” へ

横浜市の区文第一号施設として、当事業体が管理運営する文化施設の手本となるよう、これまで以上に地域に根付き、市民一体となった活動を中心とした。他の文化施設に先立って、市民参加や地域活性を促し、次代に向けた子どもや若者たちの育成を行い、さらには区内の他文化施設との協力で、施設従事者のレベルアップも牽引した。市民文化のレベル向上に寄与できる区文のリーダー的な位置づけを目指す。地域文化の牽引役となることで、地域の自慢、地域への愛着を増幅させられる施設となつた。

<” Advanced Center” 実現のための 3 つのミッション>

①幅広い市民からの共感獲得

多くの市民へ良質な文化芸術の提供と、アウトリーチによる社会的包摂のさらなる推進をした。

②若年層の利用拡大

新規利用者の開拓と、世代にあったアプローチの積極的実施した。

③地域・他施設との積極的な連携

連携事業による施設・地域が一体となった活性化と相互レベル向上に向けた取り組みの積極的実施した。

(2) 令和2年度の位置づけ

1. 事業の方針

令和元年度は、更なる新規顧客増加を図るため、WEB上の広報に力を入れ、外部委託による広告（タウンニュースWEB版（レアリア）、三井のリハウス、相鉄瓦版、あそびい）を使用すると共に、普段は仕事で来館することが出来ない働き世代方が会社帰りに立ち寄れるよう、夜間帯のコンサートを計画したが、新型コロナウィルスの影響により実施することが出来なかつた為、令和3年度に延期して実施を予定する。令和2年度は、先を見越して、来館者の平均年齢を下げる目標とし、若い世代にサンハートをアピールしていくため、WEB広報の範囲を拡大していくよう努め、更にアンケート結果を踏まえて、よりニーズに合ったイベントを開催していく。

① 交流創造型事業の進化展開

当事業体の大きな成果のひとつに、ワークショップなどの交流創造事業がある。市民の文化活動のきっかけづくりとして始まり、その後持続的な活動に発展させている市民が続出。さらには参加者同士の交流でコミュニティ活性化にも繋がっている。また、ワークショップ終了後は、発表の場にホールを利用する、ボランティアとして施設運営に係るといった好循環も見られる。今後は、そのような好循環を積極的に後押しする仕組みを今後も継続し、「人材育成活用事業」として進化・定着させていく。

- 演劇ワークショップ修了生

チケットやプログラム配布を担当する「サポートスタッフ」として活動いただく。

- 絵本の読み聞かせ講座修了生

定期的に「おはなし会」を主催し、また館外への派遣依頼にも応じる「読み聞かせボランティア」として活動いただく。

② 施設外への積極的な発信

ワークショップ・オーディション卒業者のアウトリーチでの活用や他施設事業への派遣等を含め、地域内外の活動や、文化イベント・芸術祭等への参加など、サンハートから積極的に外に向かう活動に取り組み、サンハートの発信力を強めていく。

- 既存の派遣先とのさらなるつながりと、新規開拓

区内のコミュニティスペースや障がい者施設、保育園、学校などへ音楽家や読み聞かせボランティアを積極的に派遣。既に派遣経験のある施設のみならず、需要のある施設の新規開拓に引き続き注力していく。

- 派遣事業の積極的なPR

ホームページ内の専門ページにて、派遣方法について具体的に発信。また、町の賑わいづくりの一助として、派遣事業の資料を地域公共施設等へ配布し、広く告知していく。

- 人材共有の仕組み作り

絵本の読み聞かせボランティアの派遣について、定期的に受け入れを実施している施設とは「人材共有」の仕組みを確立し、よりスムーズな運営を実現させる。

③ 地域・他施設との新しい連携事業

自治会・商店街等との連携はもちろん、区内の他文化施設や、他区の区民文化センターとも連携を

強めるなど、地域・他施設との連携を旭区民文化センターがリードして、地域の課題の共有やその解決を目指していく。

- 他文化施設・文化団体との連携

各 SNS を通して他文化施設・文化団体及び地域コミュニティの主催事業を相互リツイートし合い、互いの事業内容拡散を行う。

また、定期的にコーディネーター会議を実施し、事業を行う上での意見交換の場を設け、更には各施設の施設内見学を行うことで、自館の課題を見つけていくようとする。

- 他区民文化センターとの共催

類似した公演がある際は、双方連絡を取り合い、公演時にチラシの折り込みを行う。

2. 運営の方針

<顧客満足度の高いサービスの提供>

「施設を利用できる時間」、「情報提供」、「利用相談への対応」、「利用者支援」など、利用者・来場者の立場に立ったユーザビリティの高い施設運営を行い、顧客満足度を高める。

<レベルの高い接遇・接客>

安心と信頼の獲得のために、「職員の接遇・接客」に関する研修を行い、職員一人ひとりの“顔”が見える施設を目指す。

<ニーズの把握の徹底と改善への反映>

利用者・区民の声を収集する機会としてアンケートを定常的に実施すると共に、利用者懇話会・各種団体との合同連絡会への参加等を通して利用者と共に課題の抽出や改善に取り組む。

3. 管理の方針

<二俣川駅北口共同ビル管理組合との一体管理>

構成団体である相鉄企業(株)は二俣川駅北口共同ビルの管理組合事務業務と建物維持管理業務を併せて受託しているという利点を活かし、更なる効率的な管理を追求しコストパフォーマンスの高い維持管理を実現させる。

<施設予防保全の実現>

「今、施設や設備がどのような状態か」を踏まえて「今後施設や設備はどうなっていくか」について、将来を見据えた予防保全（中長期修繕計画・設備機器更新計画の策定・提案）に取り組む。

2 自主事業に関する計画 (事業フレーム等については【別紙1】に記載)

(1) 文化事業の企画および実施について

事業カテゴリーは、大きく「鑑賞事業」と「機会提供事業」に2分、さらにそれぞれを分類し、合計5つのカテゴリーに分けて計画、実施していく。

	[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ● 一流の芸術家による個性的な公演事業 □ トップレベルのアーティストによるサンハートならではの個性的な公演を開催する。 	<input type="checkbox"/> アンサンブルオーディション最優秀賞受賞組によるクラシックコンサートを開催。若手ながら優れた演奏力・プレゼンテーション力を持つ演奏家への活躍の場を提供していく。	<input type="checkbox"/> 予め客層や好まれる傾向、コンセプト等を出演者に伝え、サンハートに合ったプログラム構成を依頼。コンサートには前年度のアンサンブルオーディションにて最優秀賞を受賞した「Dolcezza」に出演をお願いした。	<input type="checkbox"/> 第一部はドイツ・イタリア歌曲、第二部は日本歌曲とがらりと雰囲気を変え、あらゆる世代の方が楽しめるようなプログラム構成とした。コロナ禍の中で他館でもコンサートが軒並み中止となっている状況での開催となつたため、アンケート上に「コンサート開催のありがたみ」に関する記述が多くみられた。
	<input type="checkbox"/> 大人向けを基本とし、鑑賞をじっくりと楽しんでいただく、特別感のあるコンテンツを取り入れる。	<input type="checkbox"/> 開館30周年を記念し、今までとは異なるジャンルのコンサートやイベントを開催し、より幅広い年齢層のお客様に芸術鑑賞を楽しんでいただく。	<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。	<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 普段着の芸術鑑賞 □ 身近で気軽に芸術に触れられる機会を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ ワンコインコンサートを含む 0 歳から鑑賞可能なコンサートを数回開催し、途中退出入ができること、授乳室や簡易的なおむつ替え台、ベビーカー置き場を設置する旨を提示することで、保護者に対して子供連れてのコンサートをもっと気軽にものを感じてもらえるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 予定していた計 6 公演中、4 公演が新型コロナウイルス感染症による影響で延期を余儀なくされ、残る 2 公演のみ実施。 	<ul style="list-style-type: none"> □ ワンコインコンサートのみ 2 回実施したが、子供向けコンサートがどの館も消極的になっているせいか、完売となった回もあった。子供も検温・消毒を嫌がることなく協力していただけたため、大きなトラブルもなく無事開催することができた。
	<ul style="list-style-type: none"> □ どなたにでも楽しんでもらえるよう、低価格で良質なコンテンツを提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ クラシックにとらわれず、その時のニーズにあった曲目をコンサートに盛り込み、よりお客様の目線に合わせたイベントを作り上げるよう努力する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。
機会提供事業	<ul style="list-style-type: none"> ● サンハートオリジナル □ サンハートの育成・交流創造事業としてスタートしたワークショップやオーディション型の事業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 「演劇」では、ワークショップの域を超えて、昨年同様に有料公演とし、台本については、一般公募を試みる。また、今回も出演者の他に、大道具及び小道具、演出助手の舞台裏方要員も募集していく。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での演劇指導が難しくなってしまったため、急遽 ZOOM による演劇講座に切り替えてワークショップを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 時間別のグループに分けて合計 2 日間のプログラムを実施した。14 名の方が参加し、内 6 名は新規参加者となった。大きな通信トラブルもなく、無事終了。講師は対面時と同様文学座の松井工氏に依頼。

	<p><input type="checkbox"/> サンハートの顔として、館内公演やアウトリーチ活動にも積極的に参加していく。</p>	<p><input type="checkbox"/> 「アンサンブルオーディション」入賞者を「サンハートトレジデントアーティスト」として広く告知宣伝し、サンハートから館外への発信力を高めていく。</p>	<p><input type="checkbox"/> 弦楽ピアノデュオ、管楽ピアノデュオ、室内楽の3部門の公募をかけ、延べ13組の志願者にてオーディションを実施。</p>	<p><input type="checkbox"/> 室内楽部門にて最優秀賞1組、優秀賞3組を輩出。受賞者の計4組には令和3年度の自主事業コンサート出演の副賞を授与し、客層に合わせた曲目選定などを含めて、コンサート全体の構成考案を依頼した。</p>
	<p>● 私たちのホール</p> <p><input type="checkbox"/> 市民が企画や運営に参加するコンテンツを設ける。</p>	<p><input type="checkbox"/> 区民企画委員による企画案を起用し、映画に限らず、ニーズを押さえながらバラエティに富んだイベントを随時開催していく。</p>	<p><input type="checkbox"/> 新型コロナウィルス感染症の影響により、映画上映1回、新規事業としZOOMによる映画講座を1回のみ実施。</p>	<p><input type="checkbox"/> 感染拡大防止のため、映画上映は座席を180席から120席に削減して実施。ZOOMによる講座は佐藤利明氏を迎えて石原裕次郎をテーマに行い、ZOOMを使用できない世代に向か、サンハート内での聴講も限定20席のみ可能とした。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 事業参加をきっかけとした参加者同士の出会いや交流の場を創出する。</p>	<p><input type="checkbox"/> 引き続き行う「読み聞かせ」では、定期的に勉強会を実施し、絵本の選書方法や童謡、手遊びなどの情報交換の場を設けることで、読み聞かせサポーター同士の交流や、意識向上を図る。</p>	<p><input type="checkbox"/> 新型コロナウィルスの影響によりおはなしかいを含め、おはなしかいに関わる全ての行事を未実施。</p>	<p><input type="checkbox"/> 新型コロナウィルスの影響によりおはなしかいを含め、おはなしかいに関わる全ての行事を未実施。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 事業終了後も参加者が活動を継続できる仕組みを作る。</p>	<p><input type="checkbox"/> 企画参加者としてサンハートに関わりを持った方々を中心に「サポートスタッフ」及び「読み</p>	<p><input type="checkbox"/> 新型コロナウィルス感染症の影響により未実施。</p>	<p><input type="checkbox"/> 新型コロナウィルス感染症の影響により未実施。</p>

		<p>聞かせサポート」としてサンハートの運営へ携わってもらう仕組みを継続する。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ● シーズンイベント（その他） □ 空き施設の有効活用を目的とした企画や季節に合わせたイベントなど、幅広い市民に向けた多分野にまたがるコンテンツを設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 引き続きホールの時間貸し(ピアノ練習)や、作品展示が可能なレンタルスペース「ウェルカムギャラリー」の開催など、施設の有効活用と収入向上に務める他、七夕時期など季節に応じたコンサートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 新型コロナウイルス感染症により練習場所がなくなっている団体を救済する目的で、ダンス、合唱の練習場所としてホールを開放した。 □ ホールの時間貸として既存の「ホールでピアノを弾いてみませんか」を引き続き実施。 □ 空き施設を有効活用するため、ホールで落語を練習できるイベントを新規で立ち上げた。 	<ul style="list-style-type: none"> □ ダンスと合唱合わせて11団体の利用者がおり、特に合唱に関してはリピーターも多かった。 □ キャンセルが出た際はすぐにTwitterで告知するようにし、キャンセル枠をなるべく埋めるよう努力した。Twitter=リアルタイムでの情報という流れが「ホールでピアノ」利用者に定着し、Twitterを見て予約をしたという方の比率が高くなった。 □ 2組の利用者がおり、1組はリピーター利用となった。またラジオ局にこのイベントが目に留まり、TBSラジオ「安住紳一郎の日曜天国」の生放送インタビューに出演した。 	

(2) 地域コミュニティの形成・社会的包摶（ソーシャルインクルージョン）の推進

[取組内容]	[達成指標]		
● 地域内の対象施設へダイレクトアプローチを行い、隠れた需要の掘り起こしに務める。	<ul style="list-style-type: none"> □ 地域を絞り、カフェやケアプラザ、地域公共施設へアウトリーチ活動の宣伝資料を配布し、「要請」を受けてから企画提案を行う「受注型」だったアウトリーチから、より積極的な「企画開発型」へと進化させ、新規アウトリーチ先を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 旭区内の生活介護支援施設にてアウトリーチコンサートを実施。若葉台地区センターで行っている絵本の読み聞かせについては、新型コロナウイルス感染症の影響により9月から活動再開となった。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 新型コロナウイルス感染症の中、アウトリーチの新規アウトリーチ先へ令和2年度アンサンブルオーディションの受賞者を1組派遣することができた。
● 未就学児（特に未就園児）とその親の活動の場としての需要をさらに広げ、地域コミュニティーの形成へと繋げていく。	<ul style="list-style-type: none"> □ 未就学児や小学生の子を持つ親に、サンハートを情報収集の場として「認識」してもらえるよう、チラシ配架棚をより見やすいレイアウトにしたり、各種SNSで未就学児向けの情報コンテンツを取り扱っていき、保護者が情報の渦に飲み込まれない土台作りを行う。 また、保護者にヒアリングを行い、今地域で求められていることの情報収集し、事業に反映していく。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 0歳から参加できるイベントが一目でわかるようにチラシの配架位置を変更し、ポスターも特設コーナーを設けて未就学児向け情報の差別化をするようにした。またInstagramではハッシュタグに未就学児に関するキーワードを盛り込み、子育て支援の要となるアカウントにフォローいただくことで、情報拡散を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 若年層の集客が見込めるイベントに関しては、二俣川ライフ、ジョイナステラス二俣川のデジタルサイネージも告知媒体として利用するよう心掛け、地域の子育て支援サービスセンター等にもチラシ配架依頼をするなど、多岐に渡る施設にてイベント告知を行った。

(3) 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人財育成及び文化的コモンズ形成の牽引

[取組内容]	[達成指標]		
● ともに作る：「区民企画委員」の仕組みを継続する。	<input type="checkbox"/> 区民企画には、既存のイベントの他に新規企画の立ち上げを依頼し、新たな顧客層の開拓へとつなげていく。	<input type="checkbox"/> 新規イベントとしてZOOMによる映画講座を実施。	<input type="checkbox"/> ZOOMを使用する年齢層ということで、通常時の名画座では参加数が少ない40～50代の客層を得ることができた。
● ともに進める：「運営サポートター」の仕組みを継続する。	<input type="checkbox"/> 職員が持つサービス介助士の資格を生かし、そのノウハウを「運営サポートスタッフ」に研修を通して学んでいただく他、マナー研修についても継続していく。	<input type="checkbox"/> 新型コロナウィルス感染症の影響により、運営サポートシステムを一時中止。	<input type="checkbox"/> 新型コロナウィルス感染症の影響により、運営サポートシステムを一時中止。
● ともに育つ：サンハート主催事業から派生した取り組みについて、地域文化に大きく寄与する活動を「共催事業」と位置付け、独自の運営サイクルを確立するまで積極的に支援する。	<input type="checkbox"/> アウトリーちに関して、自主事業担当者の立ち合いがなくとも開催施設に訪問できるようにしていく。	<input type="checkbox"/> 新型コロナウィルス感染症の影響により、既存アウトリーち先からの依頼がないかったため、未実施。	<input type="checkbox"/> 新型コロナウィルス感染症の影響により、既存アウトリーち先からの依頼がないかったため、未実施。
● ともにつながる：サンハートが地域のためにできることを、利用者・市民・地域・関連団体等でともに検討し、地域課題を解決するアイデアを事業化するプロジェクトを、サンハートが主体となって、地域をリードし推進する。	<input type="checkbox"/> 若い世代をサンハートの利用者として取り込んでいくため、未就学児向けのイベント時に、保護者に対してアンケートや意見交換の場を設け、館としての課題を浮き彫りにしていく。	<input type="checkbox"/> 新型コロナウィルス感染症の影響により、未就学児向けイベントをほぼ開催できていないため、未実施。	<input type="checkbox"/> イベント時に保護者に対するアンケートが取れなかつたため、代わりにサンハート利用者全般に向けたアンケートを実施した際に、未就学児に関するコンテンツを盛り込んだ。その内で得た意見を今後の運営に反映するよう取り組んでいく。

3 施設の運営に関する計画

(1) 顧客満足度の向上について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
● 利用者サービスのさらなる向上に努め利用者ニーズに合わせたサービスを増やす。	<input type="checkbox"/> 施設利用者の発表会を広報支援し、直近のホール・諸室の空き状況を情報コーナーに発信する等により顧客満足度を向上させる。	<input type="checkbox"/> 施設利用者の発表等のポスターやチラシを館内に掲示・配架し、広報支援を行った。	<input type="checkbox"/> 館内で実施する施設利用者の広報支援はもとより、他館での公演チラシも配架協力をするなど、利用者の芸術活動を積極的に支援した。空き状況については電話対応も含め、利用者に対して丁寧な対応に心がけた。
● アンケートやヒアリング等から区民・利用者のニーズを的確に把握する。	<input type="checkbox"/> 各年実施の利用者アンケートや自主事業等の来館者アンケートをはじめ、ヒアリングの随時実施と年1回利用者懇話会を開催して、ご意見・ご要望を的確に把握しサービス向上に努める。	<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面での利用者懇話会をとりやめ、施設利用者に対し、紙媒体及びWEB上でのアンケート協力をお願いした。	<input type="checkbox"/> アンケート結果を踏まえて、よりよい運営を行えるよう改善できる箇所から取り組みを開始するようにした。
● サンハート友の会を継続し、会員へのサービス向上と共に強力なサポーターとしての関係作りを図る。	<input type="checkbox"/> 改めてサンハート友の会の会員登録を行い、会員からの声を次年度の事業へ反映させる等施設のサポーター的存在として会の運営を行う。引き続きジョイナステ拉斯各店舗と連携するなど会員特典の充実等を図り、会員数増をめざす。	<input type="checkbox"/> 令和2年度友の会会員（継続・新規）を募集した。会員特典については、ジョイナステ拉斯二俣川や二俣川ライフ内の飲食店等で使用できる割引やサービスを各店舗に協力依頼した。	<input type="checkbox"/> 会員登録更新時期に休館となってしまったため、例年よりも申込が減少してしまい、友の会会員数は57名となった。

(2) 的確な施設提供の実現について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
● 効率的且つ安定した施設の開館・運営を行う。	<input type="checkbox"/> 開館日数 345 日 休館日 20 日 年末年始 12月29日 ~1月3日 施設点検・消防設備点検 14日	<input type="checkbox"/> 開館日数 286 日 休館日 20 日 年末年始 12月29日 ~1月3日 施設点検・消防設備点検 14日 臨時休館日 59日	<input type="checkbox"/> 4月1日(水)~5月31日(日)新型コロナウィルスの影響により臨時休館を実施し、全286日の開館となった。施設点検・消防点検は計画通り実施することができた。
● 利用者アンケートや利用者懇話会からの声を基に満足度向上・利用促進を図る。	<input type="checkbox"/> 様々な媒体を活用し、施設のPRを充実させ稼働率向上に努める。	<input type="checkbox"/> 新規WEB告知媒体として「ミレア(タウンニュースWEB版)」「マグカル(カルチャ情報サイト)」への掲載開始及びYouTubeチャンネル開設を行った。	<input type="checkbox"/> 「マグカル」にはイベント毎に情報掲載し、「ミレア」にはWEBを活用する世代に向けたイベント時のみ必要に応じて掲載依頼をするようにした。またYouTubeにはコンサートのアーカイブや、コンサート宣伝のための動画等をアップロードするようにした。
● 施設利用者へ専門的な利用方法等効果的なアドバイスを行う。	<input type="checkbox"/> 舞台技術を含め、専門性をもった職員が常駐して、利用者からの相談・下見・利用打合せをはじめ、トラブル等緊急時にも迅速に対応する。	<input type="checkbox"/> 舞台技術(音響・照明)の専門職員が常駐し、利用者の相談に丁寧に応えるとともに、利用に際してもきめ細かなプロデュースを行った。	<input type="checkbox"/> 舞台技術担当職員の技術の高さ、真摯な対応に対してご利用者からお褒めの言葉をいただいたり、来場者アンケートにも音響・照明などを評価する回答が少なくなかった。
● 周辺施設と連携して地域全体の賑わい作りに貢献する。	<input type="checkbox"/> 二俣川ライフ、ジョイナステラス、二俣川駅周辺商店街、二俣川駅、並びに相鉄線駅との連携事業を展開していく。	<input type="checkbox"/> 相鉄ビルマネジメントとの共同事業として、ジョイナステラス二俣川にて開催した「スプリングフェスタ」に参加。	<input type="checkbox"/> 屋外イベントである「スプリングフェスタ」に令和3年度ワンコインコンサートに出演予定のアーティストを起用。コン

			サーの宣伝を兼ねた演奏を披露し、サンハートの告知も同時に開催した。
● 施設を有効活用し、施設の魅力づくり・活性化を図る。	<input type="checkbox"/> ワンコインコンサートを引き続き実施するとともに、施設の有効活用を図る。	<input type="checkbox"/> 「ホールでピアノ」の実施やピアノ新規入れ替えによる「ピアノ弾きならしボランティア」など、空き施設を活用したイベントを実施した。	<input type="checkbox"/> 「ホールでピアノ」「ピアノ弾きならし」双方好評を得、年間を通して多数の来館者を獲得し、併せてピアノの調律維持にも有用なイベントとなった。
● 利用者へ施設のホール・諸室の空き情報をリアルタイムで広く発信する。	<input type="checkbox"/> 予約システムで閲覧できない、直近1ヶ月以内のホール・諸室の空き情報を更新し、施設内に発信する。	<input type="checkbox"/> 館内に数ヵ月にわたる各室場の予約状況を掲出し情報提供を行った。	<input type="checkbox"/> リアルタイムな情報発信に努めるとともに、ネットユーザーではないご利用者（特に高齢者）については電話、窓口で丁寧な情報提供や相談に対応した。また新予約システムについては、さらに丁寧な対応をこころがけ、安定した運用に努めた。

(3) 的確な広報の展開について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
● 地域・区民の文化芸術情報発信拠点としての役割を担う。	<input type="checkbox"/> 情報コーナーでは、文化芸術資料として、雑誌・図書・情報誌を設置するほか、類似の他施設情報の紹介を行うなど様々な文化芸術情報を得る事ができるスペースとして整備する。	<input type="checkbox"/> 新型コロナウィルス対策の一環として情報コーナーの閉鎖を継続して行った。	<input type="checkbox"/> 情報コーナーは閉鎖したが、来館者の皆様に情報発信を継続的に実施する為に、横浜市はもとより、エリア対象として発行される情報紙やチラシの最新刊を持ち帰りできるように配置を継続的に行った。

<p>● 情報の内容により、最適な媒体・手段により、効率的な広報・宣伝活動を実施する。</p>	<p>□ 每月の催し物案内発行、ホームページのリアルタイムな更新をはじめ、当事業体ならではの媒体（交通広告・広報紙等）を有効に活用しPRを行う。</p>	<p>□ 催し物案内デザイン一新と二俣川ライフ、ジョイナステラス二俣川2館に設置されているデジタルサイネージの利用を開始した。</p>	<p>□ 催し物案内はあらゆる世代が見やすく手に取りやすいようなデザインに変更し、より情報を得やすくなった。またデジタルサイネージを活用することで、元々サンハートを知らない新規顧客を呼び込むことができた。</p>
---	--	---	--

(4) 専門性と区民の力を統合する組織づくりについて

<p>[取組内容]</p> <p>● 事業企画・施設管理・舞台技術の経験・実績豊かな職員・専門スタッフと、区民をはじめとした地域スタッフを配置し、全ての職員が適切なコスト感覚、効率的管理とホスピタリティ精神をもった運営を行う。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□ 以下の通り人員を配置し運営する。</p> <p>【運営スタッフ】※2交代、常時2名以上配置 館長 1名 副館長 1名 職員 5名 【舞台技術】※利用状況により2~4名 職員 4名 【受付スタッフ】 カルチャースタッフ 12名（地域採用）</p>	<p>[実施内容]</p> <p>□ 【運営スタッフ】 ※2交代、常時2名以上配置 館長1名・副館長1名・職員5名 【舞台技術】職員4名※利用状況により1~3名 【受付スタッフ】カルチャースタッフ12名総勢23名のスタッフが常時5名以上で運営している。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>□ 運営スタッフ7名、舞台技術の専門スタッフ4名、さらに横浜市旭区民文化センターとしての受付業務に習熟したカルチャースタッフ12名との相互協力により、円滑かつ効率的な管理運営を行った。</p>
<p>● 職員・スタッフの施設運営スキルアップのために研修を実施する。</p>	<p>□ 機材研修、個人情報保護研修、消防訓練等を実施し、運営に役立てる。</p>	<p>□ 消防・防災訓練、個人情報保護研修等を実施した。また食品衛生責任者養成講習会に参加し、資格取得をした。</p>	<p>□ 消防・防災訓練及び個人情報保護研修を実施した。また食品衛生責任者の資格を取得したこと、食品販売が可能となつたため、今後の運営で活用していく。</p>

4 施設の管理に関する計画

利用者が安心して利用できるよう快適な環境作りを目指し、安全性、防犯性について最大限の配慮をする。サンハートは開館から30年を迎える、設備全体が老朽化してきている。それらの状況を踏まえた上で、施設の運営に支障をきたさぬよう維持管理に努めていく。

(1) 安全で効率的な維持管理・予防保全について

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
● 安全・安心できる施設の維持	<input type="checkbox"/> 設備等保守管理項目を遵守し、定期的な施設点�査を実施する。	<input type="checkbox"/> 建築物点検マニュアル、建築物定期報告に準拠した点検を実施した。	<input type="checkbox"/> 二俣川駅北口共同ビル設備係協力のもと、安全な施設の維持ができた。
● 定期的な設備点検	<input type="checkbox"/> 老朽化した建築、設備のリスクマネジメント評価を行い、修繕計画の適正化を図る。	<input type="checkbox"/> 建築物点検マニュアル、建築物定期報告に準拠した点検を実施すると共に、施設・設備の破損・汚損・故障などの発生に際しては迅速に対応した。	<input type="checkbox"/> 開館後30年を経て老朽化した施設・設備の修繕すべきところを必要性・緊急性に応じて、トイレ改修工事、空調機の排水管交換工事及びホール調整室防火シャッター補修工事を行った。
● 必要に応じた緊急点検	<input type="checkbox"/> 月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検を年1回行う。		
● 施設設備の予防保全	<input type="checkbox"/> 施設設備等の中長期修繕計画や修繕・改修について、早めに施設情報を提供し、関係各所に働きかけるとともに、利用受付・打ち合わせ時に利用者に備品や設備の正しい取り扱いを説明し、安全で確実な利用を促進する。	<input type="checkbox"/> 修繕・改修について、早めの情報提供、関係各所への手配を実施した。また、施設内に限らず、当館入居ビルの外壁工事やエレベーター改修工事に協力し、安全な施設の維持に努めた。	<input type="checkbox"/> 日々の状態確認や専門業者による定期保守点検の結果をもとに、修繕計画の見直しや、緊急性の高いものから情報提供し、修繕・改修を要望した。また、休館日や年1回の停電作業に合わせて、計量法に基づくメーター交換を実施した。

(2) 快適な環境の維持管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
● 安心できる環境の維持	<p>以下 7 点を達成指標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施する。 ② 美観を維持するよう取り組む。 ③ 環境に配慮し、廃棄物の発生抑制に努める。 ④ 空気環境測定 (VOC 等含む) を実施する。 ⑤ 社内による、業務の品質管理点検を実施し、特別清掃・日常清掃の計画を策定する。 ⑥ ヨコハマ 3R 夢など市の施策や事業に協力する。 ⑦ 空気環境測定結果の報告書を作成する。 	<p>① 日常清掃、定期清掃を計画どおり実施した。</p> <p>② 職員・スタッフ全員が常に整理整頓を心がけ、快適に利用できるよう努めた。</p> <p>③⑥ 館内にはごみ箱を設置せず、ご利用者はごみの持ち帰りを促した。受付カウンターおよび事務室内のごみについて減量化に努めると共に、ごみ分別を徹底した。</p> <p>④⑦ 空気環境測定を 2 カ月に 1 回 (奇数月) 実施し、報告書を作成した。</p> <p>⑤ 新型コロナウイルス感染症対策下においては、開館前と手で触れる共用部分を定期的に消毒するようにした。</p>	<p>① 各清掃をもれなく実施し、快適な環境保持と美観の維持に努めた。</p> <p>② 情報コーナー片隅や中庭の植木鉢・プランターの花により、館内を明るくソフトな雰囲気にした。</p> <p>③⑥ ごみ箱の撤去により、ごみの減量化に対する来館者の意識を高めると共に、事務室内のごみ減量に努め、確実な分別廃棄を実施できた。</p> <p>④⑦ 定期的に実施することにより、安心してご利用いただける環境づくりができた。</p> <p>⑤ 日常清掃とは別に、開館前の各室、受付周りや共用部分を定期的に消毒した。</p>

その他の計画

(1) 危機管理対策について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
● 緊急時の対応	<p>□ 緊急内容別 (事故、犯罪、火災、設備故障など) に連絡網の整備を行う。</p>	<p>□ 緊急時連絡網を整備・作成し、旭区に提出した。</p>	<p>□ 人事異動の都度名簿を作成したため、緊急時には遅滞なく対応を図ることが出来た。</p>

● 利用者の安全・安心を確保	<input type="checkbox"/> 大規模災害等が発生した場合は、行政機関との連絡・協力を円滑に行えるよう訓練等を通じて体制を整える。	□防災設備の確認と訓練を行った。	□緊急時に円滑に機能するよう、全職員・スタッフが災害対策訓練に参加した。
● 防災管理	<p>以下 5 点を達成指標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 平成 24 年度に作成した「帰宅困難者一時滞在施設」としての運用マニュアルに基づき訓練を実施し、緊急時に備える。 ② 緊急時の連絡網を作成するとともに旭区役所へ提出する。 ③ 近隣在住職員をあらためて確保する。 ④ 事故、犯罪及び火災等を発生させないために、職員による定期巡回を実施する。 ⑤ 消防計画書を作成し、自衛組織を結成することで、日常の防火・防災に努める。また、催事の際は、避難導線の確保等の指導を行うとともに、消防計画書および緊急時対応マニュアルに基づき年 2 回防火・防災訓練を実施する。 	<p>① 社会福祉協議会の協力の元、研修を予定していたが新型コロナウィルスの影響にて開催出来なかつた。</p> <p>②人事異動があった際は、連絡網を都度更新・提出した。</p> <p>③当館職員およびスタッフは、相鉄線沿線在住者を中心に採用し、万が一の際に迅速な対応ができるよう備えた。</p> <p>④防災センター警備員による定期巡回に加え、随時当館職員・スタッフが館内を巡回し、異常を早期発見・早期対処できるよう努めた。</p> <p>⑤消防計画書を作成し、日頃より防火・防災に努め、安全確認のチェックを日々行った。また、催事の際には利用団体の責任者に対し、事前に避難誘導確保についての指導を行った。</p>	<p>① コロナウィルスの影響により実体験を通じての研修を実施する事が出来なかつた。</p> <p>②職員は常に最新の連絡網情報を得ており、有事の際はこれに基づき対応するよう周知徹底を図った。</p> <p>②受付カルチャースタッフ 12 名と職員 4 名は、旭区在住ないし相鉄線沿線在住者で構成されている。</p> <p>④各職員・スタッフが適宜館内を巡回および事務室内モニターにて各室場内を確認し、安全・安心の確保に努めた。</p> <p>⑤消防計画書を作成し、年間 2 回の防災訓練を実施した。また、当館が入居している共同ビル全体の緊急地震速報対応および消防訓練、救命講習に参加するなど、訓練を重ねることにより職員・スタッフ</p>

			の意識を高め、緊急時に迅速・的確な対処ができるよう備えた。
--	--	--	-------------------------------

(2) 自己評価・P D C Aサイクルの活用について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
● 日報及び月報の作成・管理（業務記録の整備）	□ 業務記録の適正な作成・保管と共に重要な件に関して随時報告をおこなう。	□日々の業務内容を業務管理日誌、舞台業務日報、業務週報に記載し、情報の共有と周知を図った。	□業務管理日誌、舞台業務日報を通じて日々の業務に関する職員間の情報共有の徹底に努めた。また、受付スタッフに対しては常用連絡ノートおよびミーティング議事録の回覧などを用いて情報共有、連絡強化を図った。
● 業務計画書及び業務報告書の作成・管理（利用者のニーズや声を反映した業務計画の策定）	□ P D C Aサイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取組む。	□寄せられた意見を盛り込みつつ「令和 2 年度事業計画書」および「平成 31 年度（令和元年度）業務報告及び収支決算」を作成し旭区役所に提出した。	□事業計画書及び事業報告書は旭区役所のホームページに掲載され、利用者が閲覧することが出来た。
● モニタリングの実施（モニタリングへの対応・体制の整備）	□ 業務記録の一元管理によるモニタリングへの対応・体制を構築する。	□月報の形式で月毎の運営管理報告を作成し、毎月旭区および共同事業体への報告を行った。	□モニタリングでは運営管理業務実績の報告及び業務に関する打合せを実施し、施設・旭区との情報共有、協力体制の構築を図った。

● 自己評価の実施（P D C A サイクルの導入と確実な運用）	<input type="checkbox"/> 利用者アンケートの結果や利用者の声を、常に自己評価に反映させながら施設運営に取組む。	<input type="checkbox"/> 每月定期的に運営・技術職員が参加する、全体ミーティングを実施した。	<input type="checkbox"/> 職員各々が報告・確認・提案などを行い、施設の運営管理および自主事業実施にあたっての問題を検討しながら最適な選択を行った。
----------------------------------	---	--	---

6 収支について

(1) 経費削減の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
● 管理運営コストの削減に努める。	<input type="checkbox"/> 無駄な光熱水費の削減と、業務効率化等による無駄なコストの削減に努める。但し、利用者の満足を阻害するようなサービス低下につながる必要コストの削減はしないようになるとともに、軽易な修繕については職員自ら行い、修繕費を有効に活用する。	<input type="checkbox"/> 館内照明や冷暖房のこまめなオン・オフを行い光熱水費の削減に努めた。また、当館常備の楽器（ドラム・シンバルなど）の定期的な手入れや（ハンドベル等の）軽微な修繕は極力職員の手で行い修繕費の経費抑制に努めた。	<input type="checkbox"/> コロナウィルス対策として59日間の臨時休業を強いられた影響が大きく関与しているがコスト削減にも努めた結果、光熱水費は前年対比30%の削減となった。

(2) 収入向上の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
● 収益向上、適正な受益者負担を設定し、外部資金獲得に努める。	<input type="checkbox"/> 以下3点を達成指標とする。 ① ホール・諸室の空き状況をホームページにてリアルタイムに公開し、収益の向上を図る。 ② 魅力的な事業を実	<input type="checkbox"/> ①館内施設の空き状況については、館内に掲示した。 ② 繼続して実施してきた「あさひ亭まねき寄席」や「あさひ名画座」、「夏休み子ども講	<input type="checkbox"/> ① コロナウィルスの影響により閉館を余儀なくされ例年通りの稼働率を維持することは困難であった。 ② 集客力の高い魅力的な自主事業を開催す

	<p>施し、入場料収入を最大限に確保する。</p> <p>③ エレベーター横に設置したウェルカムギャラリー（レンタルボックス）により、その他収入の確保に努める。</p>	<p>座」、「バレンタインコンサート」など集客に寄与が見込まれるプログラムがコロナウイルスの影響にて、4月～8月の間行う事が出来なかった。</p> <p>③ コロナウイルスの影響により自主事業開催が困難な中、ホールの空きコマを有効利用するため好評な「ホールでピアノを弾いてみませんか？」を十分な対策を講じて7月から再開した。</p>	<p>することが出来ず、予定通りの収益向上が出来なかった。</p> <p>③ 普段ホールを利用しないお客様にもホールを活用してもらつただけでなく、微力ながら収益向上に貢献した。</p>
--	--	--	--

(3) 収支予算書

項目	予算額	決算額	増減額	備考
収入				
指定管理料収入	108,279,000	108,279,000	0	
利用料金収入	27,867,000	12,445,700	△15,421,300	
事業収入	6,958,000	2,341,168	△4,616,832	
その他収入	1,222,000	13,645,104	12,423,104	新型コロナに係る費用負担額 12,748,000
収入合計	144,326,000	136,710,972	△7,615,028	

支出				
人件費	69,347,000	72,264,680	2,917,680	
事務費	4,663,000	4,775,569	112,569	
事業費	9,119,000	1,862,994	△7,256,006	
管理費	56,573,000	53,198,984	△3,374,016	
公租公課	24,000	0	△24,000	
事務経費	4,600,000	4,600,000	0	
支出合計	144,326,000	136,702,227	△7,623,773	
収支差額	0	8,745		

【別紙1】

【自主事業フレーム】

1. 鑑賞事業	一流の芸術家による事業	<ul style="list-style-type: none"> ● ジャズシリーズ ● 最優秀賞受賞記念コンサート ● 気軽に寄り道コンサート ● サンハート記念コンサート
	普段着の芸術鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ● あさひ亭まねき寄席 ● ワンコインコンサート ● アウトリーチ
2. 機会提供事業	サンハートオリジナル	<ul style="list-style-type: none"> ● 演劇ワークショップ ● サンハートアンサンブルオーディション
	私たちのホール	<ul style="list-style-type: none"> ● 読み聞かせサポーターによるおはなしかい ● すぐすぐキッズプログラム ● 美音俱楽部 ● サンハート運営サポートスタッフ ● 区民企画委員
	その他シーズンイベント	<ul style="list-style-type: none"> ● サンハートオープンデー ● ホールでピアノを弾いてみませんか？ ● 夏休み子ども体験講座 ● ウェルカムギャラリー ● アートマーケット

【自主事業一覧】

(税込、単位：千円)

No.	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (講座参加者数)
1-1	12月	ジャズシリーズ	ホール	サンハート主催のジャズレクチャー参加者が立ち上げた「横濱J&B オーケストラ」によるビックバンド演奏。30周年を記念し、サンハートにゆかりのある演奏者を起用する。	一般 1,500 円 高校生以下 1,000 円 ※当日 200 円増	※新型コロナウィルス感染症の影響により公演中止

1-2	7月	最優秀賞受賞記念コンサート	ホール	アンサンブルオーディション最優秀賞受賞組による、良質なクラシックコンサート。今年度はソプラノとピアノのデュオによる演奏をお届けする。	一般 1,000 円 高校生以下 800 円 ※当日 200 円増	101名
1-3	5月	気軽に寄り道コンサート	音楽ホール	仕事帰りに立ち寄れる 19 時以降に開催する大人のためのコンサート。	一般 1,000 円 高校生以下 800 円 ※当日 200 円増	※新型コロナウィルス感染症の影響により公演中止
1-4	計 3 回 (6・9・3月)	サンハート記念コンサート	ホール	30 周年を記念し、今まで取り組んでいないジャンルのコンサートを企画。30 周年の締めくくりは旭区出身の箏奏者による邦楽コンサートを予定。		※新型コロナウィルス感染症の影響により公演中止
2-1	計 3 回 (5・8・1月)	あさひ亭まねき寄席	ホール	著名な真打ちや若手落語家による公演。今年度は 70 回目の記念回をオープンデーにて開催し、動員を図る。	[1 月のみ実施] 一般 2,000 円 中学生以下 1,000 円 ペア券 3,500 円 ※当日 200 円増	※第 69 回のみ実施 84名
2-2	計 6 回 (9・12・3月、 1 日 2 回公演)	ワンコインコンサート	ホール	若手音楽家によるクラシックアンサンブルのコンサート。子供向けと大人向けの 2 公演に分け、誰もが気軽に音楽に触れられる機会を提供する。	[12 月・3 月] 一般 500 円	[12 月] 11:00 の回 85 名 14:00 の回 74 名 [3 月] 11:00 の回 147 名 14:00 の回 126 名
2-3	計 10 回 (学校 4 回 福祉 3 回 その他 3 回)	アウトリーチ	旭区内各所	小学校や福祉施設等へ、出前コンサートやワークショップを届ける。オーディション受賞者への演奏機会提供の場も兼ねる。	無料	学校 4 回 他施設 8 回

3-1	計 12 回 9・10・11月(ブ レワークショ ップのみ8月)	演劇 ワークショップ	ホール カルチャ ー工房	講師に文学座の 松井工を迎える、演 劇を通じたコミ ュニケーションのス キルアップを目指す ワークショップ。今 度は新しく脚本の 一般公募を試みる。	参加費 3,000 円	※新型コロナウイル ス感染症の影響によ り、急遽 ZOOM のワー クショップに切り替 えて実施 14 名
3-2	10 月	サンハートアン サンブルオーデ ィション／レジ デントアーティ スト	ホール	地域のアマチュ ア音楽家や近隣 の音大生を対象と して、器楽を中心と したアンサンブルの オーディシ ョン。入賞者は、 主催事業での出 演機会提供の他、 アウトリーチ事 業への参加アーテ ィストとして、 地域へ積極的に 広報を行う。	参加料 1 組 5,000 円	13 組 管楽ピアノデュオ 4 組 8 名 弦楽ピアノデュオ 1 組 2 名 室内楽 8 組 22 名
4-1	通年 (月 1 回)	読み聞かせサポ ーターによる「お はなし会」	ホール ロビー	未就園児とその 保護者を対象と した絵本の読み 聞かせ会。サンハ ートの読み聞か せ講座を修了し た「読み聞かせサ ポーター」が企画 運営を担当する。 館外からの依頼 も積極的に引き 受け、絵本の読み 聞かせを通じた 地域貢献を目指 す。	無料	※新型コロナウイル ス感染症の影響によ り公演中止
4-2	通年	すくすくキッズ プログラム	ホール カルチャ ー工房	乳幼児を対象に、 初めて音や絵と 触れ合う機会を 提供するととも に、子育ての合間 に子供連れで参 加可能な母親向 けのイベントを 開催する。	ワンコインの午前中 枠にて実施	ワンコインの午前中 枠にて実施 ※一部新型コロナウ イルス感染症の影響 により公演中止

4-3	通年 (月1回)	美音俱楽部	会議室	サンハート独自の真空管アンプを使った会員制のレコード鑑賞会を行う。	1時間100円	※新型コロナウイルス感染症の影響により未実施
4-4	通年	運営サポーター	ホール			※新型コロナウイルス感染症の影響によりサポーター制度一時中止
4-5	通年	区民企画委員	ホール 会議室	区民の目線を通してサンハートならではの企画をプロデュース。「バレンタインコンサート」と「名画座」の企画運営を行う。	[名画座] 前売700円 当日800円 [ZOOM講座] 一般1,000円	[俺は待ってるぜ] 98名 [ZOOM講座] オンライン19名 聴講者11名
5-1	8月	オープンドー	全施設	全館で無料や低価格のイベント、さらに市民参加型の催しを行い、普段サンハートを利用されない方や家族連れが気軽に施設に立ち寄っていただくきっかけを提供する。		※新型コロナウイルス感染症の影響により公演中止
5-2	通年	ホールでピアノを弾いてみませんか？	ホール 音楽ホール	サンハートホールや音楽ホールのフルコンサートグランドピアノを1時間単位で試演できる企画。	1時間2,000円 2時間3,800円	延べ596名
5-3	7・8月	夏休み子ども体験講座（ゴスペル）	ホール	夏休みの数日間、サンハートに集まった小中学生で一致団結し、集大成となる発表会を実施する。		※新型コロナウイルス感染症の影響により公演中止
5-4	通年	ウェルカムギャラリー	エレベーター横	エレベーター横にある窓際にレンタルスペースを設置し、宣伝ツールとしても利用できる自分だ	1ボックス2,000円	延べ利用12台

				けの小さなギャラリーを開催。		
5-5	7・8・11月	アートマーケット	アートギャラリー	出店者による手作りアート作品を販売するイベント。		※新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント中止
6-1	通年	サンハート友の会		固定顧客層への優遇体制を整え、顧客満足度向上を図る。	年会費 1,200 円	会員数 57 名
6-2	通年	備品購入 郵送費		チラシ用のカラーペーパー購入費や、他館へのチラシ発送代など。		
6-3	通年	取材 打合せ諸経費		その他諸経費		